

平成30年度 施 政 方 針

～町のあるべき姿を想い、今為すべきことを為す～

(平成30年第1回定例会)

平成30年3月2日

川 島 町

1 はじめに

それでは、議長のお許しをいただきましたので、本定例会においてご審議いただきます諸案件の説明に先立ちまして、平成30年度の町政運営に関する基本的な考え方を申し述べさせていただきます。

古来より日本人に愛されてきた梅の花が、寒い冬を乗り越えて、今、見頃を迎えております。厳しい寒さに耐え、毎年、清楚な花をつけるその姿は、まさに「凡を重ねる」ことの大切さを教えてくれております。

数々のドラマを生んだ平昌（ピョンチャン）冬季オリンピック。中でも、大きなかがを負いながら、見事に連覇を果たしたフィギュアスケートの羽生結弦（はにゅうゆづる）選手や、スピードスケート女子500メートルで五輪新記録を樹立した小平奈緒（こだいらなお）選手は、お二人とも、金メダルへの期待や様々な重圧に耐え、見事に、結果を出してくれました。その姿に、多くの方が深い感動を覚え、心の底から惜しみない拍手を送ったことと思います。

大きな高い目標に向かい、今、自分がしなければならないことをする。これも、私の基本理念である「10年20年後の川島町のあるべき姿を想い、いま為すべきことを為す」と、相通じるものがあるのではないかと思っております。

さて、天皇の退位等に関する皇室典範特例法が昨年の6月に成立し、天皇陛下の退位日が来年の4月30日に決定いたしました。1年間通しての平成時代は、今年が最後となります。来年は新たな時代の幕が開くことになり、時代の大きな節目となる年でもあります。この大きな変化にも、決してぶれることなく、柔軟に、しなやかに、川島町という一つの地域を経営していくことを思っています。

また、今年は、圏央道川島インターチェンジが平成20年3月に供用開始となってから満10年を迎えます。この間、インター北側産業団地の開発や大型ショッピングモールの進出により、税収の確保はもとより、多くの雇用と活気が生まれ、町の進展に大きく寄与いたしました。引き続き、インター南側地区の市街地整備について、整然とした面整備が図れるよう推進してまいります。

いっぽうで、農業振興区域においては、農家数の減少や農業経営者の高齢化、また、耕作放棄地の増加など、多くの課題が出てきております。早苗の緑や青い空、そこに吹く風のにおいといった、川島町が先人から守ってきた自然環境を、次代に大切に引き継いでいく責任が私たちにはあります。そのためにも、農地の集積や集約化した農地の区画拡大を図ってまいります。

そして、そこに生活する2万町民の皆様が、何の障りもなく暮らしていくことを「幸

せだ」と感じてもらえるよう、平成30年度も全身全霊で町政にまい進していく覚悟です。

愚直に正直に、たとえ石にかじりついてでも、一歩でも半歩でも前に進むことが川島町の明るい未来につながるものと信じ、第5次川島町総合振興計画・後期基本計画ほか諸計画に定めた施策を進めてまいります。

2 主要事業

平成30年度は、第5次川島町総合振興計画・後期基本計画の3年目、また、川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の4年目を迎えます。いずれも計画期間の後半になりますので、引き続き、スピード感を持った行政施策の展開を図ってまいります。

このようにして編成した、平成30年度当初予算の規模は、一般会計が66億1,000万円となり、前年度比7,000万円、率にして1.0%の減となりました。

また、特別会計は、

国民健康保険特別会計が21.1%減の24億3,600万円

学校給食費特別会計が7.1%減の7,190万円

下水道事業特別会計が46.0%増の5億6,200万円

介護保険特別会計が4.7%増の17億円

後期高齢者医療特別会計が10.9%増の2億400万円

水道事業会計が2.3%増の6億6,189万6千円

となりました。

なお、予算に基づく主要事業につきましては、先にお配りしております、平成30年度予算案の概要や、事業別予算に組み直しました「平成30年度予算書」をご参照くださいますようお願いいたします。また、傍聴の皆様をはじめ、町民の皆様には、恐縮ですが情報公開コーナーや町ホームページでご参照くださいますようお願いいたします。

3 むすびに

さて、明治期の設立以来、100年以上の歴史と伝統を育んできた三保谷、出丸、ハッ保、小見野の4つの小学校が、間もなく、その役割を終えます。そして、4月からは、新たにつばさ南小学校とつばさ北小学校が、次の世代を担う人材の基礎を養う学び舎としてスタートします。今年は、川島町にとって大きな変化、変革の年となります。今こそ、町民の皆様一人一人の力を結集し、未来に向かったまちづくりを考えていく絶好の機会であると考えております。

もう一度、初心に立ち返って、町民目線、意識改革、凡事徹底、気働きといった「職務執行基本姿勢」を自ら肝に銘じ、職員一丸となって「チームかわじま」体制で諸事全

般に対処していく所存です。

議員各位並びに町民の皆様におかれましては、「いま安心、未来に希望が持てる魅力あふれる川島町」の実現に向け、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願ひいたしますて、平成30年度町政運営に臨む施政方針とさせていただきます。

平成30年3月2日

川島町長 飯 島 和 夫